

1 梨の生育状況

梨の果実肥大は、6月13日の無作為調査の結果では、「幸水」の横径が32.6mmと前年より大きく、平年並みとなっています(前年値30.7mm 平年値31.8mm)。

黒星病の発生は、過去4年間の同時期と比較して、いずれの品種も少ない状況です。ただし、現在梅雨時期であること、6月上旬の降水量が多かったこと、7月初旬頃から「幸水」の果実に感染しやすい時期となること等から、今後の発生防止対策の実施が極めて肝要です。

2 黒星病の発生状況

①果実、葉等の発病状況

6月12日の発病状況調査結果では、いずれの品種においても、前回調査(5/16)以降、罹病果実、葉の発生・拡大は少なく、H27年の多発年以降、発病果そう率は2.8%と最も少ない状況です。

(H30年17.2%、H29年7.2%、H28年6.3%、H27年45.8%)。

表 R元年 黒星病発生状況(調査日:6月12日)

品種名	調査園地数	発病 果そう率 (%)	部位別発病率						
			果実 (%)	果梗 (%)	果そう葉 (%)		新梢葉 (%)		
					葉	葉柄	葉	葉柄	枝
幸水	68	2.8	0.4	0.3	0.3	1.6	0.1	0.2	0.0
豊水	27	4.6	0.2	0.1	0.4	3.6	0.1	0.2	0.0
新高	14	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0
あきづき	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計・平均	113	2.8	0.3	0.2	0.3	1.9	0.1	0.2	0.0

【参考：昨年同時期の発生状況】

表 H30年 黒星病発生状況(調査日:6月13日)

品種名	調査園地数	発病 果そう率 (%)	部位別発病率						
			果実 (%)	果梗 (%)	果そう葉 (%)		新梢葉 (%)		
					葉	葉柄	葉	葉柄	枝
幸水	68	19.7	1.4	1.3	3.5	11.6	0.8	3.4	0.1
豊水	27	19.2	0.6	0.7	2.9	13.0	0.8	3.2	0.1
新高	14	4.0	0.1	0.1	1.7	1.6	0.0	0.6	0.0
あきづき	4	7.0	0.0	0.0	2.0	6.0	0.0	0.5	0.0
合計・平均	113	17.2	1.0	1.0	3.1	10.5	0.7	2.9	0.1

②気象データによる感染危険度(千葉梨防除ナビより)

4月10日～6月13日の間で感染危険度の発生日数は、過去3年と比較し少ない状況でした。

<黒星病感染危険度の発生日数および指数>

	4月	5月	6月	計
R元	1 (1.5)	2 (1.6)	3 (2.5)	6 (2.1)
H30	7 (4.6)	10 (5.7)	2 (2.7)	19 (5.0)
H29	3 (1.9)	9 (2.4)	4 (3.1)	16 (2.5)
H28	4 (3.0)	3 (5.0)	2 (2.0)	9 (3.4)

※ () 数値は、感染危険度指数(0～9までの10段階評価)

☆直近では、6月8、10、11日が感染危険日となっており、潜伏期間(15日)を経た、6月23、25日頃に果実や葉に発病する可能性があります(特に、5月初旬から発生が多い園地では注意が必要です!!)

3 これからの防除について

☆防除は「降雨前」、SSは「低圧、低速、全列走行」を心掛けましょう

※11回目と12回目の防除日が第4号で案内した防除日より1日ずつ早まります。

回数	散布月日	薬剤名と濃度	収穫基準 (収穫前日数)	散布量	主な対象病害虫	防除 実施日
11	6月24日～ 26日(変更)	オキシラン水和剤 600倍 サムコルフロアブル 10 5,000倍	3日 前日	300 ㍓	黒星病、輪紋病 シクイムシ類、ハマムシ類 ケムシ類	
12	6月29日～ 7月1日(変更)	ダニゲッター フロアブル 2,000倍	前日	400 ㍓	ハダニ類 ニセナシサビダニ	
<p>○殺ダニ剤の散布前に草刈りを実施して下さい。 ○黒星病の発生が多い園地ではユニックス顆粒水和剤 47 (2,000倍:21日前まで) を加用して下さい。</p>						
13	7月4日～6日 (満開75～77日)	ストロビードライフロアブル 3,000倍 (Qo I 剤) オーソサイド水和剤80 1,000倍	前日 3日	300 ㍓	黒星病、輪紋病、黒 斑病、うどんこ病	
14	7月14日～16日 (満開85～87日)	オンリーワンフロアブル 2,000倍 (DMI 剤) ベルコートフロアブル 1,500倍 アルバリン顆粒水溶剤 2,000倍	前日 14日 前日	300 ㍓	黒星病、輪紋病、うど んこ病 シクイムシ類、カメムシ類 ケムシ類	
15	7月24日～26日 (満開95～97日)	ネクスターフロアブル 1,500倍 (SDHI 剤) オーソサイド水和剤 80 1,000倍	前日 3日	300 ㍓	黒星病、輪紋病、黒 斑病、うどんこ病	

【重要項目】

- 第13～15回目の防除は、「幸水」の果実が黒星病に最も感染しやすい時期の防除となります。効果の高い防除を実践するため、散布間隔は10日以上空かないよう、また、雨前散布に努めて下さい。
- 現在現れている病斑(新たな感染源)を放置すると、罹病果実の多発の原因になりますので、見つけ次第園地外で適切に処分して下さい。
- 短果枝群、側枝の基部では葉の展葉にともない薬剤透過が劣り、感染・発病を助長させる原因となりますので、摘果作業と並行して新梢管理(芽かき、新梢の切除)を実施して下さい。

4 コンフューザーNの追加設置について

ナンヒメシクイは「幸水」の収穫期間中にも発生しますが、農薬防除対応が困難なため、収穫前までにコンフューザーNを追加設置し、対策の強化を図って下さい。

	内容	注意事項
設置本数	50本/10a	<ul style="list-style-type: none"> ●ほ場の外周は有効成分濃度が薄くなるため、多めに設置する。 ●傾斜地では斜面上側を多めに設置する。 ●周辺にウメやモモがある場合には、これらを含めて設置する。
設置時期	7月下旬から8月初旬 (「幸水」の収穫前までに)	
設置間隔	約4.5m間隔(1樹あたり1～2本程度)	

5 補正摘果の基準について

◆「幸水」の補正摘果基準値(果実横径)の目安(満開日が4月20日の場合)

玉サイズ	6月19日	6月22日	6月25日	6月28日	7月1日	7月4日
44玉基準	29.5mm	30.7mm	32.0mm	33.5mm	35.2mm	37.2mm

◆「豊水」の補正摘果基準値(果実横径)の目安(満開日が4月16日の場合)

玉サイズ	7月15日	7月18日	7月21日	7月24日	7月27日	7月30日
40玉基準	43.9mm	46.2mm	48.7mm	51.3mm	53.8mm	56.4mm

※その他の玉サイズに必要な時期別の果実横径を知りたい方は、資料を配布しますので選果場にお越し下さい。